



被災後の生活再建シート（一般）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

住宅の被害	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 長期避難世帯の認定 ※半壊以上の住宅は解体すると支援法では全壊の扱いに
家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明 <input type="checkbox"/> 重度後遺障害 <input type="checkbox"/> その他の怪我 ➡①⑥をチェック ➡⑦⑩をチェック ➡⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> ➡いる場合⑫をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)の合計額

Ⓐ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

Ⓑ もらえる支援金の合計 万円 ←下の①～⑧の合計額

備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	<input type="text"/>	万円	←半壊以上59.5 準半壊30
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金） ※単身世帯は4分の3の金額	<input type="text"/>	万円	←(1)全壊100 (2)（半壊以上+解体）100 (3)長期避難世帯100 (4)大規模半壊50
④	被災者生活再建支援金（加算支援金） ※単身世帯は4分の3の金額	<input type="text"/>	万円	←③をもらった人が(1)建築・購入で200 (2)修理で100 (3)民間貸借で50をもらえる ※中規模半壊の人はこの各半額をもらえる
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←災害により金額に差。配分は数回も
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

Ⓒ 借りられるお金の合計 万円 ←下の⑨～⑫の合計額

⑨	社会福祉協議会の貸付	<input type="text"/>	万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←家屋被害や負傷などに応じ最大350
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←被災後の購入/建築/修理のための融資
⑫	リバースモーゲージ融資(⑩の高齢者特例制度)	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居（応急修理制度との併用原則不可）	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>	←半壊以上の建物が公費解体の対象になることも
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に
・	災害公営住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←収入などに応じて家賃設定される

※罹災証明の判定と再建方法に応じた個別シートも活用を
※被災者生活再建カードとの併用がオススメです
※このシートは営利目的でなければ配布・掲載も自由です



生活再建シート（全壊・持家で現地再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(④+⑤+⑥)の合計額

④ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

⑤ 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯75	万円	←もらえる方の金額に○をつける
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

⑥ 現地での再築費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>		←残った建物の基礎より上を無償解体してもらう
④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	複数世帯200 単身世帯150	万円	←もともと住んでいた土地に住宅を再築する場合の加算支援金は左の金額です。自分の世帯の該当するところに○をつけましょう。
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←全壊等最大350万円。借りる場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>		←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居	<input type="checkbox"/>		←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度(弁護士会が窓口)	<input type="checkbox"/>		←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>		←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（全壊・持家で別の場所での再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害 死亡・行方不明 重度後遺障害 その他の怪我
 →①⑥をチェック →⑦⑩をチェック →⑩をチェック

家族の年齢 60歳以上の人が いる いない
 →いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の（A）+（B）+（C）の合計額

① 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

② 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命（死亡）保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円	←もらえる方の金額に○をつける
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入（生計維持者500/その他250）
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入（生計維持者250/その他125）
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

③ 別の場所での再建費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>		←残った建物の基礎より上を無償解体してもらおう
・	元住んでいた土地の売却（できる場合）	<input type="text"/>	万円	←売却できた場合に記入
④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	（複数世帯） 建築購入200 民間賃借 50 （単身世帯） 建築購入150 民間賃借 37.5	万円	←加算支援金は、その後の住宅再建の方法によってもらえる金額が違います。建築、購入するのか、民間物件を借りるのかによって、該当するところに○をつけましょう。
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←全壊等最大350万円。借りる場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（見えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>		←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居	<input type="checkbox"/>		←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>		←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>		←災害の損害は医療費控除のように所得控除に
・	災害公営住宅の入居	<input type="checkbox"/>		←収入などに応じて家賃設定される



生活再建シート（各種半壊・解体で現地再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害 <input type="checkbox"/> 死亡・行方不明 <input type="checkbox"/> 重度後遺障害 <input type="checkbox"/> その他の怪我 →①⑥をチェック <input type="checkbox"/> ⑦⑩をチェック <input type="checkbox"/> ⑩をチェック
家族の年齢 60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> →いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)の合計額

Ⓐ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

Ⓑ 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>	←残った建物の基礎より上を無償解体してもらう
①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯75	万円 ←もらえる方の金額に○をつける（半壊以上の住宅を【やむを得ず解体】した場合には全壊と同額の給付。必ず事前に自治体に相談）
⑤	義援金		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金		万円 ←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）		万円 ←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入

Ⓒ 現地での再築費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	複数世帯200 単身世帯150	万円 ←もともと住んでいた土地に住宅を再築する場合の加算支援金は左の金額です。自分の世帯の該当するところに○をつけましょう。
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）		万円 ←半壊+α等最大350万円。借りる際記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）		万円 ←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資（上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）		万円 ←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（見えそうなものに☒） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（各種半壊・解体で別の場所で再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害 <input type="checkbox"/> 死亡・行方不明 <input type="checkbox"/> 重度後遺障害 <input type="checkbox"/> その他の怪我 →①⑥をチェック <input type="checkbox"/> ⑦⑩をチェック <input type="checkbox"/> ⑩をチェック
家族の年齢 60歳以上の人が <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> →いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)の合計額

Ⓐ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

Ⓑ 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>	←残った建物の基礎より上を無償解体してもらおう
①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円 ←もらえる方の金額に○をつける（半壊以上の住宅を【やむを得ず解体】した場合には全壊と同額の給付。必ず事前に自治体に相談）
⑤	義援金		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金		万円 ←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）		万円 ←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金		万円 ←もらえる（もらった）金額を記入

Ⓒ 別の場所での再建費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

・	元住んでいた土地の売却（できる場合）		万円 ←売却できた場合に記入
④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	(複数世帯) 建築購入200 民間賃借 50 (単身世帯) 建築購入150 民間賃借 37.5	万円 ←加算支援金は、その後の住宅再建の方法によってももらえる金額が違います。建築、購入するのか、民間物件を借りるのかによって、該当するところに○をつけましょう。
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）		万円 ←半壊+α等最大350万円。借りる際記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）		万円 ←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）		万円 ←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に
・	災害公営住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←収入などに応じて家賃設定される



生活再建シート（大規模半壊・修理で現地再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑫をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

※大規模半壊では、修理費用も高額になることが通常です。修理するのか、公費解体制度を利用して建物を解体した上で、全壊の扱いで最大300万円の支援金をもらって住宅を再建（購入・建築）するのかは慎重に検討してください

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の（A）+（B）+（C）の合計額

A 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

B 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命（死亡）保険		万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	59.5	万円	←修理完了後等は仮設住宅に入れないことに注意
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯 50 単身世帯 37.5	万円	←自分の世帯に応じてもらえる方の金額に○をつける
⑤	義援金		万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金		万円	←該当なら記入（生計維持者500/その他250）
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）		万円	←該当なら記入（生計維持者250/その他125）
⑧	自治体独自の支援金や補助金		万円	←もらえる（もらった）金額を記入

C 現地での再築費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	複数世帯 100 単身世帯 75	万円	←修理をする場合には左記の加算支援金がもらえます。世帯に応じて該当するほうに○を
⑨	社会福祉協議会の貸付		万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）		万円	←住宅が半壊以上、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借りる場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）		万円	←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資（上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）		万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居（応急修理制度との併用原則不可）	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（半壊・中規模半壊修理で現地再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害 死亡・行方不明 重度後遺障害 その他の怪我
→①⑥をチェック →⑦⑩をチェック →⑩をチェック

家族の年齢 60歳以上の人が いる いない

→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）

※半壊以上では、修理費用も高額になることが通常です。修理するのか、公費解体制度を利用して建物を解体した上で、全壊の扱いで最大300万円の支援金をもらって住宅を再建（購入・建築）するのかは慎重に検討してください

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(A+B+C)の合計額

① 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

② 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命（死亡）保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	59.5	万円	←修理完了後等は仮設住宅に入れないことに注意
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入（生計維持者500/その他250）
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入（生計維持者250/その他125）
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

③ 現地での再築費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

④	中規模半壊の方がもらえる被災者生活再建支援金（加算支援金）	複数世帯 50 単身世帯37.5	万円	←中規模半壊の方は、修理の際、左記の加算支援金がもらえます
⑨	社会福祉協議会の貸付	<input type="text"/>	万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←住宅が半壊以上、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借る場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借る場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資（上記⑪の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居（応急修理制度との併用原則不可）	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（準半壊以下で現地修理用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)の合計額

Ⓐ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

Ⓑ 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	(30)	万円	←準半壊で修理選択の場合には○をつける
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

Ⓒ 現地での修理費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

⑨	社会福祉協議会の貸付	<input type="text"/>	万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←家財の3分の1の損害、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借りる場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度など（使えるものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に
・	罹災証明の判定への再調査申請 （特に住宅内部まで調査する第二次調査について、一部損壊(10点未満)から準半壊(10～19点)へ、また準半壊から半壊(20～29点)への判定変更を求めるケースが典型)	<input type="checkbox"/>	←①まずは自治体に第二次調査の点数(100点満点)を聞き、住宅どの部分がどの程度壊れたと評価されているかを確認 ②その上で修理や建替の業者等の協力を得て、自治体による再調査が適当な箇所を聞きましょう ③業者等から簡易なものでも調査報告書を作り、事前に自治体の担当課に説明した上で、再調査の申請を行ったり、④再調査の際にも専門家に立ち会ってもらえるとスムーズです。



生活再建シート（長期避難/半壊以上で現地再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(④+⑤+⑥)の合計額

④ 手元の現金・預金 万円 ←空欄でも大丈夫です

⑤ 基本的な支援金の合計 万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	(59.5)	万円	←修理を選択する場合には○をつける
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円	←長期避難世帯の方がもらえる基礎支援金です。該当する世帯の方に○をつける
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

⑥ 現地での再築費用の調達 万円 ←下の金額の合計額

・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>		←長期避難世帯の対象の住宅が半壊以上になっている場合には、適用可能性あり（再築なら選択）
④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	(複数世帯) 建築 200 修理 100 (単身世帯) 建築 150 修理 75	万円	←もともと住んでいた土地に住宅を再築するのか今の家を修理するので金額が異なります。自分の世帯の該当するところに○をつけましょう。
⑨	社会福祉協議会の貸付	<input type="text"/>	万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←住宅が半壊以上、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借る場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借る場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑） ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居（応急修理制度との併用原則不可）	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（長期避難/準半壊以下で現地修理用）


支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人がある <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の（A+B+C）の合計額

A 手元の現金・預金  万円 ←空欄でも大丈夫です

B 基本的な支援金の合計  万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています 備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命（死亡）保険		万円	←もらえる（もらった）金額を記入
②	応急修理制度（補助）	（30）	万円	←準半壊で修理選択の場合には○をつける
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円	←長期避難世帯の方がもらえる基礎支援金です。該当する世帯の方に○をつける
⑤	義援金		万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金		万円	←該当なら記入（生計維持者500/その他250）
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）		万円	←該当なら記入（生計維持者250/その他125）
⑧	自治体独自の支援金や補助金		万円	←もらえる（もらった）金額を記入

C 現地での修理費用の調達  万円 ←下の金額の合計額

④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円	←長期避難世帯が修理する場合の加算支援金です。該当する世帯の方に○をつける
⑨	社会福祉協議会の貸付		万円	←災害援護資金～150 住宅補修費～250等
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）		万円	←家財の3分の1の損害、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借りの場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）		万円	←住宅ローンに類似。借りの場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資（上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）		万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑）  ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居（応急修理制度との併用原則不可）	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に



生活再建シート（長期避難世帯で別の場所での再建用）

支援制度の利用もれをなくしながら、住まいの再建に使える金額を確認しましょう

（利用上の注意） 当該被災地域に①災害救助法②被災者生活再建支援法③公費解体制度等が適用されているかご確認をお願いします

家族の被害	<input type="checkbox"/> 死亡・行方不明	<input type="checkbox"/> 重度後遺障害	<input type="checkbox"/> その他の怪我
	→①⑥をチェック	→⑦⑩をチェック	→⑩をチェック
家族の年齢	60歳以上の人が いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/>		
	→いる場合⑩をチェック（利息だけの返済で住宅の修理/建設/購入の費用借入の可能性。600万円借りて月1万円程度の返済）		

被災後の再建に使えるお金の合計 万円 ←下の(Ⓐ+Ⓑ+Ⓒ)の合計額

Ⓐ 手元の現金・預金  万円 ←空欄でも大丈夫です

Ⓑ 基本的な支援金の合計  万円 ←下の金額の合計額

以下の①～⑫までの数字は生活再建シート（表紙）の数字に対応しています

備考欄内の単位（万円）

①	火災（地震）保険／生命(死亡)保険	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
③	被災者生活再建支援金（基礎支援金）	複数世帯100 単身世帯 75	万円	←長期避難世帯の方がもらえる基礎支援金です。該当する世帯の方に○をつける
⑤	義援金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入
⑥	災害弔慰金	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者500/その他250)
⑦	災害障害見舞金（重度障害被害）	<input type="text"/>	万円	←該当なら記入(生計維持者250/その他125)
⑧	自治体独自の支援金や補助金	<input type="text"/>	万円	←もらえる（もらった）金額を記入

Ⓒ 別の場所での再建費用の調達  万円 ←下の金額の合計額

・	元住んでいた土地の売却（できる場合）	<input type="text"/>	万円	←売却できた場合に記入
④	被災者生活再建支援金（加算支援金）	(複数世帯) 建築購入200 民間賃借 50 (単身世帯) 建築購入150 民間賃借 37.5	万円	←加算支援金は、その後の住宅再建の方法によってももらえる金額が違います。建築、購入するのか、民間物件を借りるのかによって、該当するところに○をつけましょう。
⑩	災害援護資金貸付（自治体が窓口）	<input type="text"/>	万円	←住宅が半壊以上、世帯主の負傷などがあれば利用可能性。借りる場合記入
⑪	災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）	<input type="text"/>	万円	←住宅ローンに類似。借りる場合記入
⑫	リバースモーゲージ型融資 （上記⑩の高齢者【60歳以上】特例制度）	<input type="text"/>	万円	←かかる費用や評価額等の6割が借入上限 生前自分たちだけが住めればいい人に！

その他の支援制度（使えそうなものに☑）  ←使える制度はもれなく！

・	ボランティアの活用	<input type="checkbox"/>	←様々な支援あり。ボランティアセンターなどへ
・	仮設住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←家賃無料。原則最長2年間
・	建物の公費（無償）解体制度	<input type="checkbox"/>	←長期避難世帯の対象の住宅が半壊以上になっている場合には、適用可能性あり
・	被災ローン減免制度（弁護士会が窓口）	<input type="checkbox"/>	←預貯金500+支援金+義援金を残して債務減免 今の住宅ローン免除後に新たな借入の可能性も
・	税金の雑損控除（確定申告必要）	<input type="checkbox"/>	←災害の損害は医療費控除のように所得控除に
・	災害公営住宅の入居	<input type="checkbox"/>	←収入などに応じて家賃設定される